

戦争を許さない女たちのJR連絡会



いのち輝く



〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 JR総連内 ☎ 03-3491-7191 JR 057-4596

なくそう えん罪！ つくろう 平和な未来！

女たちの行動 最高裁に要請書を提出

みんなで最高裁に訴えました

浦和電車区事件・美世志会の無実を！

5月12日「戦争を許さない女たちのJR連絡会」は、JR浦和電車区事件の無罪判決を求め、初めて最高裁判所に要請行動を取り組みました。女たち8名は、美世志会の梁次さんの案内で最高裁判所に入りました。最高裁への要請はほとんどの人が初めての経験で、緊張の面持ちでした。

はじめに、代表者が「無罪判決を求める要請書」を読み上げ、担当官に手渡しました。その後、参加者一人ひとりが美世志会7名の無実を訴えました。

「7名は電車の大好きな運転士さんたちです。7名を知っている人はみんな、そんなことする人たちではない、どうして強要になるの？7年半にもなるのにまだ裁判をしているの？と疑問を口にします。」「組合の仲間として心配して励ましたり、人間として嘘をつくことを注意したことが、公安警察

によって犯罪に仕立てあげられました。」「吉田がひそかに録音したICレコーダーの会話が、刑事によって変えられています。裁判官はICレコーダーを聞いてほしい。ちゃんと聞けば強要ではないことがはっきりわかります。」「足利事件や布川事件など、えん罪だったことが明らかになっています。これ以上えん罪を生まないように審理を尽くしてほしい。」「何の罪もない人がある日突然逮捕され、一年近く勾留され、会社も解雇され、7年半も裁判をしています。その間の家族のことを考えると胸がしめつけられます。どうか正しい判断をしてください。」など参加者全員で訴えました。

玉盛代表は、「7年半7名を見てきて、私たちは無実を確信して



最高裁の前で(5・12)

います。7名の逮捕の時は、何十カ所にも及ぶ組合事務所・組合役員や組合員宅の家宅捜索が行われました。※その後も重ねて別件で捜査を受けましたが、不起訴になりました。これだけ大規模な捜索がなぜ必要だったのか。これは組合に対する弾圧だと思います。そのことをぜひ見てください。判決で検察官の主張がいくつも否定されたにもかかわらず、検察側は控訴も上告もしませんでした。そんな曖昧なことで主権者を罪人にして良いのでしょうか。ぜひ納得のいく判断をしていただきたい。」と訴えました。

最後に美世志会の梁次さんは、「ICレコーダーの内容をしっかりと聞いて、正しい判断をしてほしい」と締めくくりました。

これからも美世志会の完全無罪に向けて、私たちは引き続き要請行動を取り組んでいきます。

(次ページに続く)

奮^ケてる女^{オンナ}

負けでどすべナ。

女^メたちの男^{オトコ}の前^{マエ}でしゃべるの^ノア

ゆるぐネ

したばって

しゃべねばまいね^ジア

とんでもね^ゴと

見^ミてまたんだもの

裁判^{サイバン}所^{ショ}ねもしゃべねばまい^ネ

ど^トど^トが^ガ こ^コど^トが^ガ。

した^シた^タども

しゃべ^キた^キア^キ味^ミい^イ。

大^オ洞^{ドウ}慶^{セイ}逸^逸

※2001年11月の浦和電車区事件では64カ所家宅捜索され1,096点が押収された。その後2007年7月(蒲郡駅事件)までの間、5度にわたる弾圧が繰り返され計193カ所の家宅捜索で5,826点が押収された。うち4件は不起訴となった。



朝鮮高校を「無償化」の対象に！

誰もが平等に教育を受ける権利があります



署名を取り組む高校生たち

◇映画『BOX袴田事件 命とは』 えん罪袴田事件をテーマにした映画。5月29日公開。6月以降各地で上映。上映時間1時間57分。ぜひご覧ください。

もしあなたの家族や知人の高校生が「あなたたちは教育を平等に受ける権利がないのよ」と言われたら、どんな気持ちになりますか？ 4月1日、高校の授業料無償化が実施されましたが、正当な理由もなく朝鮮学校だけが無償化の対象から除外されてしまいました。朝鮮学校の生徒だけ他の高等学校やインターナショナルスクール、台湾・中華学校に通う生徒と違う扱いを受けることがあって良いのでしょうか。

「私たちも同じ人間です」「朝鮮学校が対象外とされるのは自分の存在が否定されたような気持ちです」と朝鮮学

校の生徒たちは言います。

教育基本法は、誰もが平等に教育を受ける権利があり、人種・信条などによって教育上差別されないと明記しています。今回の「無償化法」も、経済的負担を軽減し教育の機会均等に寄与する目的のためにつくられていることからして、排除するのは不当です。

今、朝鮮学校の生徒たちは無償化を求める署名を取り組んでいます。学ぶ意思のある子どもたちが平等に教育を受け

られるよう、子どもたちが希望を持てる社会になるよう、私たちが署名に協力していきましょう。

最高裁要請

(1面より)

美世志会の無罪をかちとるため、最高裁で訴えました。

「私は公判を何回か傍聴し、吉田が職場集会に持ち込んだICレコーダーを聞いたことがあります。職場集会にICレコーダーを持ち込むこと自体労働組合ではあり得ないし、おかしいと思いますが、テープを聴くと強要罪などとまったく違うことがすぐわかります。また、検察側が作成したテープの反訳書を証拠で使っていますが、それはテープと違う内容でした。是非、裁判官の方に生のテープを聴いていただければ無実であることがわかります」と。

梁次さんもテープのどこがどう違うのかについて、「私の場合は甲15号証のところ…」と、具体的に説明し、主席書記官補佐の方もメモを取っていました。聞き届けてくれればいいのですが。

(東労組 Y・T)

私は美世志会の家族の思いに立って訴えました。「何も罪のない人たちを逮捕し、きつい取調べを何日も受け、一年弱の間拘留所に入れられ、判決は有罪！会社も解雇されてしまいました。なぜ？ そんな7名の思いと、ある日突然訳もわからないまま自分の夫や息子が逮捕され残された家族の思い、おそらく心ない人には、犯罪者の家族と見られ、私たちが想像する以上に辛い思い、悔しい思いを、たくさんしてきたと思います。それでも無実を信じ今まで闘ってきた家族の思いを考えたことがありますか？と、私は問いたいです。どうか正しい判決をお願い致します」と。(青空の会 K・U)



基地問題をめぐる迷走は、最悪の事態を迎えている。私たちは沖縄研修をはじめ様々な取

り組みを通じて、沖縄の現実を学べば学ぶほど「これ以上沖縄に基地負担をさせてはならない」「沖縄に基地はいらない」との

思いを強めてきた。日米地位協定や在日米軍基地のあり方について見直す方向を党のマニフェストとして掲げ、鳩山総理も「最低でも県外」と語っていたのに、まさか「申し訳ないが辺野古周辺に」との言葉が飛び出すとは思ってもよらなかった。

米国では軍の運用基準で住宅地の真上を訓練機が飛んだり住宅地に密接して基地建設はできないのに、日本ではそれがまかり通ってきた。ジュゴンが生息する辺野古沖に基地をつくることもアメリカ文化財保護法に抵触する。「いのちを守りたい」とか「友愛」、「国民の生活が第一」の姿勢はどこにいったのか。沖縄の心を裏切らないで欲しい。(S・T)

私は被害届の出され方や捜査のあり方について申し上げました。本来、告訴や被害届が出されてから捜査が始まるのが通常ですが、それが出される数カ月前からの捜査ということは、この「浦和電車区事件」をつくるのが前提だということ。つまりえん罪であるということです。そして、「簡単には黙秘させない」「10年20年は出られない」といった脅迫的取り調べでは真実を導き出すことはとても難しい、そのことも含めて裁判所として審理を尽くして欲しいと要請し、えん罪を晴らすため、弁論が行われることを望んできました。(エンジェル E・H)

日米共同声明に抗議し、辺野古への基地建設に反対します。



韓国・水曜デモと 光州事件30周年を訪ねて



5月16日～20日、9条連が主催する「光州事件30周年と韓国水曜デモ」に参加してきました。

1980年、民主化を求めて蜂起した民衆に軍が武力で弾圧し、数千人が犠牲になったともいわれる光州事件から今年で30年です。私は光州を訪れるのは初めてで、事件のことは映画を見て少し知っていた程度でした。光州では、事件をテーマにした絵画展や、当時民衆の側で闘っていた大学の先生の案内で、ゆかりの地を廻ってお話を聞くことができました。一番激しい闘いの場となった道庁（現在は使用されていない）を目の前にしたとき、映画のシーンが蘇ってきて足が震えました。18日の記念式典はどしゃぶりの雨…。まるで犠牲者たちの悲しみの涙のようでした。私たちは、この事件を風化させてはいけない、二度

と起こしてはいけないとの思いに包まれました。

ソウルに戻り、19日は日本軍「慰安婦」問題早期解決に向けた第918回目の水曜デモが行われました。日本からの一行18名に加え、韓国の労働組合や学生、アメリカからの参加もあり総勢約150人が集まりました。9条連は、2008年から毎年5月にソウルで水曜デモを主管しており今回が3回目です。憲法9条の紙芝居をハングルで朗読し、歌手・海勢頭豊さんのライブで大いに盛り上がりました。声明では、日韓併

合100年にあたる今年、過去を清算し新たな日韓関係を創る上でも、日本軍「慰安婦」問題を早急に解決すべきと訴えました。

最終日、ソウル近郊で「慰安婦」のハルモニ（おばあさん）たちが暮らしているナヌムの家を訪ねました。併設する歴史館で日本人研究員の村山一兵さんから日本軍の資料や被害者の証言をもとに作成された「慰安婦」の歴史を丁寧に説明して頂きました。交流会では海勢頭さんの歌をととても喜んで聴

いていたハルモニたち。

私たちを優しく迎えてくれたハルモニに感謝するとともに、私たち日本人が政府に対して、「慰安婦」被害者への謝罪と賠償を強く求めていかなければとの思いを強くしました。(T.O)



“ナヌムの家でハルモニたちと”

* * * JR東労組鉄道業女性協議会から水曜デモに参加しました * * * *

水曜デモ

初めて水曜デモに参加し、ハルモニたちの強い怒り、苦しみ、悲しみを肌で感じてきました。ハルモニや各国から集まった賛同者たちとともに、大使館に向かってシュプレヒコールを上げながら、怒りと恥ずかしさが同時にこみ上げてきました。日本政府は、一日も早く正式に謝罪し、過去に犯した忌まわしい罪を認めるべきです。すでに、亡くなったハルモニもたくさんいます。せめて、今ご健在のハルモニ全員がこの問題の解決を見届けることが出来るよう、一日も早い解決に向けて私たちが共に闘います。(M・G)



ナヌムの家

ナヌムの家はとてもどかな環境にあり、元気なハルモニ達やボランティアの方が迎えてくれました。交流会を開き、音楽に合わせてハルモニ達と一緒に踊ったりと楽しい時間を過ごすことができました。

ハルモニから当時の記憶は消えることがないのにこんなに楽しんでるんだと思うと、私は途中で涙がでそうになりましたが、日本軍慰安婦被害女性だなんて信じられないくらい元気いっばいで逆に勇気と元気をもらいました。

日本政府が謝罪をしないのは本当に信じられません。ハルモニ達が生きているうちに謝罪が実現されなければならぬと思います。今より元気なハルモニ達に会いに行けるよう、私もできることから始めようと思いました。(A・T)



私たちは応援します 「たしろ かおる」さんを国政へ送ろう



武力で平和は守れない

憲法9条を守り、平和を世界に広めます

民主党参議院比例区
第78総支部長

たしろ かおるさん



★プロフィール 宇都宮市生まれ、50歳。

1979年国鉄に就職。電車運転士（山手線に乗務）。JR東労組池袋支部書記長、JR総連特別執行委員などを経て、現在JR総連とJR東労組本部の政策調査部長。2001年12月～アフガニスタン難民支援活動開始、現地NGO「JRU-PAC」のカブール事務所長として約5年間アフガン支援活動に従事。

「女たちのみなさん！
子供たちのために平和な社会を一緒に創りましょう！」

ビルマ
便り
No.3

いのちを救う水を求めて 軍事政権下のビルマでは…

4月に入ってもまだ寒い日本とは違い、私の国ビルマは40度以上の暑さで、毎日のように高齢者の急死が続きました。何より国民が一番困っているのは水。ビルマ各地の川、池、井戸が涸れ、生活用水に困っているとの情報を耳にしました。生活に欠かせない大切な水。たった一口の水を求めて助けを求める人々の顔が頭に浮かびます。しかし、軍事政権は国民がきれいな水を飲めるようにと、各地を回って水配りをするなどということは、一切ありません。人々は40度以上の暑さで喉が乾き、どれほど一口の水を飲みたいことでしょう。生活用水がなく伝染病が起きても、十分な医療もない状態で、国民は大事な命を落とすこととなります。



増進協会の旗を強制的に立てさせる
こともありました。現在の国内事情



水を求めて並ぶ人

葬儀援助協会（注1）の話によると、5月15・16日の死者は一日当たり70人を上回ったそうです。軍事政権にとっては、国民の命はどうでも良いの

です。銃を撃たず、弾を使わずに死んでもらえるし、世界からも注目されません。軍事政権は、生活、教育、健康管理など、最低の状態におかれた国民をさらに苦しめているのです。

国民が苦しんでいても、軍事政権は平気でいられますが、国民同士は見えてられません。国民民主連盟（NLD）、葬儀援助協会と青年たちは、全国を回り水配り活動をしながらい井戸掘りも手伝っています。ただし軍事政権は、水を配る車に健康

増進協会の旗を強制的に立てさせることもありました。現在の国内事情を国外に漏らさないよう注意までされました。いつもの軍事政権のやり方です。

自由な活動が制限され、軍事政権に監視されているなかでも、国民の願いを叶えるために頑張っている人々がいます。私はその人々を大変尊敬するとともに、私に出来ることは一生実行し続けることを誓います。 イテッサン（横浜市在住）

注1 葬儀援助協会 ビルマの国民的人気俳優KO KYAW THUが作った組織。彼は全国を回り、亡くなられて葬式に困っている方があれば誰にでも援助する。2007年10月デモ（黄金色の革命）で活動された僧侶に齋飯（ご飯）、水などを捧げたことで軍事政権に逮捕されたこともあった。俳優の仕事は禁止され、彼の映画、コマーシャル、歌などは国内で禁止されている。現在、彼は葬式だけではなく子供たちへの教育支援など様々な活動をしている。

注2 健康増進協会 軍事政権が作った組織。公務員はこの協会に入らなければならない。